

- 1…平成24年度 第3回理事会開催
彩の国カップ・第92回天皇杯全日本サッカー選手権大会
- 2…ぎふ清流国体で少年男子がベスト8に
～荻野清明監督、大森健司技術委員長に聞く～
- 4…レジスタFCが世界準優勝
～ダンロップ・インターナショナルカップ2012 in ポーランド～
- 5…審判委員会より
- 6…祝、高校総体準優勝&U-18リーグ優勝
～武南高校・大山照人監督インタビュー～
- 8…大会記録
- 12…インフォメーション・編集後記



●発行/発行人：会長・相川宗一 編集人：荒川裕治 ●発行所/（公財）埼玉県サッカー協会 住所：〒330-0074さいたま市浦和区北浦和1-21-18雁ヶ音ビル204号室
Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 http://www.saitamafa.or.jp/（年間購読料 1500円）

平成24年度 第3回理事会開催

9月25日、さいたま共済会館において第3回理事会開催が開催された。議案は以下の通り。

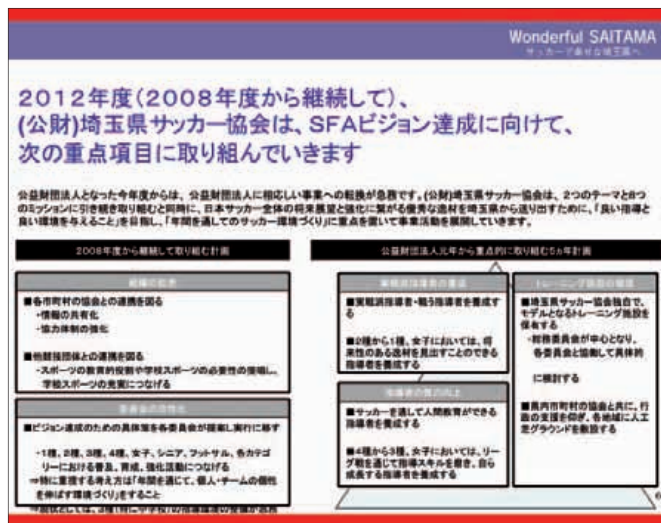
- 第1号議案 「公益財団法人埼玉県サッカー協会規程等改正(案)について」
第2号議案 「SFAミッション改正(案)について」
第3号議案 「2020東京オリンピック・パラリンピック招致に関する協力依頼について」

第1号議案の主な変更点は、①登録料について、関東協会への登録料が明記されていないので明記したのと、現状の登録料と金額が誤っていたので現状通りとした。また、役員登録料別表を削除した。②就業規則第7条の事務局終業時間を17時30分から18時00分とし、休憩時間を午後12時30分から午後1時30分までとした。③就業規則第25条第2項の職員定年を、満60歳から満65歳とした。④会計規程、給与規程、旅費規程は、監査法人指導のもと改正した。⑤個人情報保護指針、個人情報基本規程は、JFA規程に沿って全面改正をした。⑥リスク管理規程は、監査法人指導のもと新規規程を作成した。通報先一覧表は、理事・監事・評議員・各種別連盟長・事務局員を明記した。

第2号議案については、新規ページ（図参照）を作成したと、ミッション1において各市町村FAとの連携を追加、ミッ

ジョン4ではドクターマップの作成を追加、ミッション6で研修会の充実を追加、ミッション8には、公益財団法人移行化に伴い、公益事業規模の拡大および充実を図りたい旨を追加した。

第3号議案は議決書を作成し、県体協へ提出することが了承された。（ミッションについては公式ウェブサイト参照）



Wonderful SAITAMA
サッポロ・夢があるから独くなる

2012年度(2008年度から継続して)、(公財)埼玉県サッカー協会は、SFAビジョン達成に向けて、次の重点項目に取り組んでいきます

公益財団法人となった今年度からは、公益財団法人に相応しい事業への転換が急務です。(公財)埼玉県サッカー協会は、2つのテーマと8つのミッションに引き継ぎ取り組むと同時に、日本サッカー全体の発展と強化に資する優秀な人材を埼玉県から送り出すために、「良い指導と良い環境を育えること」を目標とし、「年間を通してのサッカー環境づくり」に重点を置いて事業活動を展開してまいります。

2008年度から継続して取り組む計画	公益財団法人3年以内に取り組みむ計画
各本市町村の協会との連携を図る ・地域力の強化 ・協力体制の強化 競技者層の拡大を図る ・スポーツの教育・育成や学校スポーツの必要性の啓発、学校スポーツの普及につなげる SFAビジョン達成のための人材育成を各委員会が推進し実行に移す ・1種、2種、3種、4種、女子、シニア、フットサル、各カテゴリーにおける普及、育成、強化活動につなげる ⇒特に重視する考え方は「年間を通して、個人・チームの個性を伸ばす環境づくり」をすること ※図表については、別冊1に詳しく説明しています。	各本市町村の協会との連携を図る ・地域力の強化 ・協力体制の強化 競技者層の拡大を図る ・スポーツの教育・育成や学校スポーツの必要性の啓発、学校スポーツの普及につなげる SFAビジョン達成のための人材育成を各委員会が推進し実行に移す ・1種、2種、3種、4種、女子、シニア、フットサル、各カテゴリーにおける普及、育成、強化活動につなげる ⇒特に重視する考え方は「年間を通して、個人・チームの個性を伸ばす環境づくり」をすること ※図表については、別冊1に詳しく説明しています。

彩の国カップの勝者は、2年連続で平成国際大学

平成24年度彩の国カップ 第17回埼玉県サッカー選手権大会の決勝が、8月26日に鴻巣市陸上競技場で開催された。昨年に続いて、平成国際大学と尚美学園大学との対戦となったが、平成国際大学が3対2で尚美学園大学をかわして、2年連続2度目の優勝と天皇杯出場を果たした。

夏の暑い盛りの中、多くの観客の皆さんに来ていただき、ありがとうございました。共催、後援、協賛各社の皆様に御礼を申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。

平成24年度彩の国カップ 第17回埼玉県サッカー選手権大会 8月5日～26日 鴻巣市陸上競技場他

バイオニア川越サッカー部	0	平成国際大学	5	尚美学園大学サッカー部
東京国際大学サッカー部	1	さいたまSC	2	
坂戸シティーFC	0	3	2	
平成国際大学サッカー部	2	3	2	
			5 PK 4	大宮アルディージャユース
			2	1
				ACアルマレッザ飯能

※優勝した平成国際大学は第92回天皇杯全日本サッカー選手権大会に埼玉県代表として出場する。



平成国際大学サッカー部

第92回天皇杯全日本サッカー選手権大会

9月1日～1月1日 国立競技場他 (終了分のみ)

- 1回戦 ブラウブリッツ秋田 1-0 平成国際大学
2回戦 大宮アルディージャ 2-0 ブラウブリッツ秋田
浦和レッズ 2-1 ヴォルカ鹿児島
3回戦 大宮アルディージャ 3-1 アビスパ福岡
カマタマーレ讃岐 1-2 浦和レッズ



浦和レッズ vs ヴォルカ鹿児島



大宮アルディージャ vs ブラウブリッツ秋田

「ぎふ清流国体」で少年男子がベスト8に

～荻野清明監督、大森健司2種技術委員長に聞く～

「ぎふ清流国体」において、今年度の埼玉県選抜少年男子が大大国体(2008年)以来のベスト8に入賞した。夏の関東ブロック大会では劇的な勝利で本大会の切符をつかんだチームはどういう活動してきたのか。今回は荻野清明監督(浦和東高)と大森健司2種技術委員長(越谷南高)に話を聞いた。

コミュニケーションの強化とコンプレックスの排除

—お疲れ様でした。ベスト8で終わったのは残念でしたが、いいチームを作られたと思って見ていました。

荻野 最後(3回戦の大阪府戦)は力の差を感じましたね。個人もチームも。残念でした。

—その話はのちほどにして、まずはチームの立ち上げから伺いたいと思います。昨年までの国体チームは、中学3年生最後の3月の時点で県トレセン、レッズ、アルディージャの選手が揃って選考会を行い、4月からのトレセンリーグに臨んでいました。それがこのチームから例年よりも早い段階から合流となりましたね。

荻野 昨年のことですが、U-15のトレセンを始める前に、坂庭さん(技術委員長)と矢作さん(典史氏。浦和レッズアカデミーセンター長)、中村順さん(大宮アルディージャ育成部長)を交えて、U-15からレッズとアルディージャの選手たちも交えて県トレセンとして活動していくという申し合わせをしました。

その流れで既存のU-14県トレセン、レッズ、アルディージャの同じ年代の選手たちが集まり、ミックスチームを作ってゲームをしたかったのですが……まずは練習試合という形でスタートさせました。本当にミックスさせたのは、夏休みのキャンプからで、そこで25人程度集めて、後期から始まるトレセンリーグに備えたのです。

ももとの県トレセンの選手たちは私のコンセプトをある程度理解していましたから、キャンプからレッズとアルディージャの選手たちにも自分の考え方をアプローチしてきました。

U-15のトレセンリーグはほとんど勝てず、特に神奈川には遊ばれていましたね。年が明ける頃には、僕と選手たちのコミュニケーションが取れるようになり、かつ、ずっと県トレセンで活動してきた中体連や街クラブの選手たち、7～8人の様子が変わりました。Jクラブの選手たちへのコンプレックスが全く無くなり、対等にしゃべるようになったんです。この二つが大きなアドバンテージになったと思います。その年のクラブユースの大会でクマガヤSCが優勝して、アレグレが準優勝したことも、Jクラブ以外の子どもたちにとっての自信になったのかもしれない。

—これまで県選抜の課題の一つとして挙げられていたコミュニケーションは、今回のような早い合流でほぼ解消できたということですね。

荻野 そうですね。あとU-13から持ち上がっていく中で、茂木力也や小川紘生、里見直樹が、街クラブからレッズやアルディージャに入り、その後特に茂木と小川が日本代表として AFC U-16選手権イラン2012 で活躍してくれたことは、うれしい誤算でした。

大森 プリンスリーグを吉武さん(博文氏・U-16日本代表監督)が見てくれて、気になったと言うことでレッズの練習にも行ったそうです。そこから代表に呼ばれ、国体中も「また小川が決めた」とニュースが入ってきて、うれしかったですよね。

彼らは岐阜に行けませんでした。その中でベスト8に入ったのは選手たちのがんばりが一番です。もう一つは、清明さんのパ



荻野清明氏

ーソナリティのよるものが大きいと思います。また、レッズからスタッフとして入ってくれた隆正(渡辺隆正氏)も同じ歩調でいてくれたのでプレもなく、高体連とJクラブの関係もよかったと思います。まあ、2時間のミーティングも当たり前でしたね(苦笑)。

荻野 坂庭さんから「(スタッフは)荻野先生のやりやすい人、誰でもいい」と言っていたので、(浦和高校の教え子でもあるレッズの)隆正、(浦和東高校で共にコーチをした越谷総合技術高の)平尾(信之氏)、U-15トレセンからの継続で(飯能ブルーダーの)土居さん(智氏)、(本庄第一高の)武藤さん(敏道氏)、そして国体をずっとサポートしてくださっている(西大宮病院の)加藤トレーナー(一夫氏)にお願いしました。本当にオン、オフ両面で充実した楽しいスタッフでした。

「サンダー!」とは?

大森 スタッフ同士、とてもいいコミュニケーションが取れていました。また、清明さんと隆正が試合以外のところでも選手たちと積極的なコミュニケーションをしていたので、チーム作りにおいてもいい落とし込みができたと思います。

ただ、選手たちと清明さんたちが「サンダー!」って言うのがよくわからなかったですね。JFAが作った新しい言葉かなと思ったんですよ(笑)。

—報告書を拝見すると、攻撃のところで「サンダーパス」という単語が出ていますね。

大森 縦パスなんですよ。生温くなくスピードある縦パスのことです。(パスの)受け手も出し手も常に狙ってこうと。見ていて、とにかく「サンダーを通すんだ」というのは面白かったですね。そのために常にモビリティを求めている「モビレ!」と言っていましたよ。

あとはシンプルに相手の裏を取ろうという話をしていました。Jクラブでプレーしていると足下へのパスが多いじゃないですか。彼らを見ていると長いボール(パス)を蹴ることができるのに、狙っていないかったり、(味方)を見ていなかったりもつたないと思う場面が多かったです。要は(裏)取れるのに、取れないという感じだったんですが、清明さんからの指導を受けて彼らも「そうか」という感じで取り組んでいました。

荻野 U-15のときは月に一回の活動しかなく、それもトレセンリーグに参加していましたから試合ばかりで練習はほとんどできなかったんです。U-16になってから月2回、練習できるようになって、攻守にわたってどういうサッカーをするのかをトレーニング出来るようになりました。彼らは1試合する毎にステップアップしていってくれました。

大森 そんな中で菅原(朋也・アルディージャ)が入ってきましたね。

荻野 最初はゴリゴリのイメージだったんですけど、攻撃時のパス、ドリブル、シュートはただ者ではなかったですね。最初は、守備はほとんどしないプレーヤーでしたがね(笑)。

大森 試合を観に来たアルディージャのスタッフが「普段の朋也じゃない」っていうほど、守備もしてくれました。

荻野 シュートが特にすごい。実際、ケガ人が出る中でどうしようかと思っていたときにU-16リーグの試合を観に行ったんですね。メンバーがみんな元気だったら、観に行かなかったかもしれ



大森健司氏

ません。後で聞いたら、U-15のときの合同練習の中にいたんですよね。見逃していたわけです。関東ブロック大会の後から入ってくれましたが、本大会では核になってくれました。うれしい出会いでしたね。

技術とスピードの差

—しかし、時間が経つ中でそういう発見もあるのが、この年代の面白さなのかもしれません。さて、関東ブロック大会では東京に延長の末に負けたものの、神奈川に0-3から大逆転して本大会への切符を手に入れました。その本大会ではベスト8。改めて振り返っていただけますか。

荻野 関東ブロック大会から代表やケガなどで5人、入れ替わったんです。

1試合目(愛媛戦)は、立ち上がり15分以外は完璧でした。2試合目(富山戦)は終始圧倒していました。しかし、3試合目の大阪で負けてしまいました。

富山戦では相手に5秒もボールを持たせることは無く、その調子で大阪戦にも臨んだのですが、意外にも大阪は蹴ってきたんです。さらにそのセカンドボールも拾われて、かつ足下でもパンパン弾かれて、技術とスピードはそれまでの試合とは雲泥の違いでした。6分に先制されて、7分に同点としましたが、普通にやったらボコボコにされてしまいそうだったので、守備面での修正を行いました。スピードがある相手に食いつきすぎずに、自陣でパスを回されても冷静にゴール方向を切って最後は身体を張っていこうと指示しました。ただ後半にダメージが残ってしまいました。相手は2試合目、こちらは3試合目でしたからね。後半の2点は、スピードあるドリブラーの11番(平尾壮選手・ガンバ大阪ユース)にサイドを割られました。DFで奪った後、もっと中盤に繋がったかったのですが、蹴るのがやっという感じでしたね。大阪は優勝するに値するチームだったと思います。

レッズの選手たちも感想文に「(自分たちは) まだまだ全然」ということを書いていました。悔しいですけど、ベスト4に入るチームはちょっと違いますね。

大森 勝てば勝つほど、スカウティングに追われて埼玉の試合を観ることができませんでした(苦笑)。あの準々決勝は、前半は千葉と兵庫の試合を観ていましたが、とにかく兵庫がすごくて試合運びが上手いんですよ。前半0対0で終わったんですが、あの千葉が何もできていませんでした。これまで関東のチームが常に優勝していましたが、他の地域のレベルが上がってきていますね。

確かに大阪戦での埼玉の選手を観たら、いつもは驚いている場面でクリアしてましたね。これまで大阪や兵庫は、激しい試合をやってきたのでしょ。彼らのレベルに付いていかなければならないと思いました。大分国体でも大阪に0対1で負けましたが、もっと差が開いたと思います。

荻野 選手たちからは「大阪よりも神奈川が強かった」という声もありました。まあ、神奈川との試合(関東ブロック大会。前半0-3からの大逆転)のときは、「魂」だけでした。選手、スタッフが一緒になって最高の準備をしてミーティングをやったんですよ。ケガ人と出場停止があって、とにかく11人でやるしかなかったという

底力によるものでした。

U-13のときから選手たちを観てきて、3年半。気持ちよく指導できました。特にレッズ、アルディージャのスタッフには協力していただいて感謝します。

大森 実は清明さんにトレセンをお願いするにあたり、年齢のこととかも含めて色々考えたんです。全体的にスタッフを若返させようとする中で、先輩をお願いするのはいいのかどうかと。その中でいい成果が出たと思います。やはり、若いうちから国体のスタッフに入ってもらい、何回かやってもらうことも大事だとわかりました。今回は、本当にありがとうございました。お疲れ様でした。

—お二人とも、重ね重ね、お疲れ様でした。スタッフの皆さん、全員に感謝したいと思います。選手たちにとっては、まだ通過点です。これからこの国体に関わった選手たちがどのように成長していってくれるかが楽しみです。ありがとうございました。

関東U-16トレセンリーグ

4月22日 埼玉県 1-2 山梨県
5月27日 埼玉県 4-1 茨城県
7月16日 神奈川県 1-1 埼玉県

国体関東ブロック予選

8月18日 東京都 5-3 埼玉県
(3延長1) 得点者 清川2、小川
8月19日 埼玉県 4-3 神奈川県
得点者 清川2、里見、小川(1延長0)

ぎふ清流国体 飛騨古川ふれあい広場他

9月30日 1回戦 埼玉県 1-0 愛媛県
得点者 ンドカ
10月1日 2回戦 富山県 0-3 埼玉県
得点者 里見2、ンドカ
10月3日 準々決勝 埼玉県 1-3 大阪府
得点者 菅原



埼玉県少年男子チーム

少年男子

監督	荻野清明（浦和東高校）				
番号	位置	選手名	現在登録チーム名	3種登録チーム名	4種登録チーム名
1	GK	佐川 雅寛	本庄第一高校	クマガヤSC	江南南
2	DF	細田 真也	浦和レッズY	浦和レッズ JrY	本太サッカー少年団
3	DF	吉原 大	浦和レッズY	浦和レッズ JrY	川口朝日リボルバー
4	DF	高山 和真	大宮アルディージャY	大宮アルディージャ JrY	川越パンサー
5	MF	池田壮太郎	浦和東高校	大宮アルディージャ JrY	新座片山FC少年団
6	MF	勝野 瑛	浦和レッズY	浦和レッズ JrY	FC浦和
7	FW	菅原 朋也	大宮アルディージャY	大宮アルディージャ JrY	大宮アルディージャ Jr
8	MF	小野 雅史	大宮アルディージャY	大宮アルディージャ JrY	大宮アルディージャ Jr
9	MF	橋岡 和樹	浦和レッズY	浦和レッズ JrY	FC浦和
10	FW	ンカ ポニフェイス	浦和東高校	大宮アルディージャ JrY	越谷サンシン
11	FW	里見 直樹	大宮アルディージャY	FC深谷	熊谷西少年団
12	GK	後藤 大輝	大宮アルディージャY	大宮アルディージャ JrY	大谷場サッカー少年団
13	DF	長島 巧	浦和レッズY	浦和レッズ JrY	FC鶴ヶ島
14	MF	清川 大輝	浦和レッズY	浦和レッズ JrY	三室SSS
15	MF	岡野 森	浦和レッズY	浦和レッズ JrY	FC浦和
16	MF	松崎 洸星	浦和レッズY	浦和レッズ JrY	FC浦和
※	DF	植木 亮太	大宮アルディージャY	※関東ブロック大会出場	
※	DF	荒木 聡太	浦和レッズY	※関東ブロック大会出場	
※	MF	小川 紘生	浦和レッズY	※関東ブロック大会出場	
※	FW	白川 竜義	大宮アルディージャY	※関東ブロック大会出場	
※	DF	茂木 力也	浦和レッズY	※関東ブロック大会出場	
※	FW	廣井 恭平	武南高校	※関東ブロック大会出場	



ぎふ国体 少年男子2回戦 埼玉県 vs 富山県 写真提供/(公財)埼玉県体育協会



ぎふ国体 少年男子準々決勝 埼玉県 vs 大阪府 写真提供/(公財)埼玉県体育協会

第67回国民体育大会 関東ブロック大会

8月18日 駒沢オリンピック公園総合運動場他

●成年男子

1回戦 埼玉県 0-2 群馬県

※ 茨城県と栃木県が本大会に出場。

●女子

1回戦 埼玉県 0-3 東京都

※ 千葉県と茨城県が本大会に出場。



成年男子 埼玉県 vs 群馬県



女子 埼玉県 vs 東京都



埼玉県成年男子チーム



埼玉県女子チーム

成年男子 関東ブロック大会

監督		武田 幸生 (ドルフィンズ SC)	
番号	位置	選手名	チーム名
1	GK	佐藤 仁美	東京国際大学体育会サッカー部
2	DF	安藤 基司	東京国際大学体育会サッカー部
3	DF	三橋 瑛	東京国際大学体育会サッカー部
4	DF	市瀬 勇樹	東京国際大学体育会サッカー部
5	MF	瀬野 高司	東京国際大学体育会サッカー部
6	DF	鹿糠 智正	東京国際大学体育会サッカー部
7	MF	小玉 敏之	東京国際大学体育会サッカー部
8	MF	若井 祥吾	東京国際大学体育会サッカー部
9	FW	福島 遼	東京国際大学体育会サッカー部
10	FW	川村 誠也	東京国際大学体育会サッカー部
11	MF	高橋 明嗣	東京国際大学体育会サッカー部
12	FW	岩井 雄大	東京国際大学体育会サッカー部
13	MF	笠原 友昭	東京国際大学体育会サッカー部
14	DF	伊東 駿多	東京国際大学体育会サッカー部
15	MF	上船 利徳	東京国際大学体育会サッカー部
16	GK	武田 幸生	ドルフィンズ SC

女子 関東ブロック大会

監督	中瀬 晴彦 (尚美学園大学)	
番号 位置	選手名	チーム名
1 GK	飯島 うなみ	尚美学園大学
2 DF	佐藤 千鶴	尚美学園大学
3 DF	阪戸 りな	尚美学園大学
4 DF	大滝 彩美	尚美学園大学
5 DF	林 香奈絵	尚美学園大学
6 MF	今井 彩	本庄第一高校
7 MF	白土 莉那	尚美学園大学
8 FW	須永 未来	本庄第一高校
9 MF	藤村 菜由	尚美学園大学
10 MF	高橋 花歩	尚美学園大学
11 MF	川越あきら	久喜高校
12 GK	三枝 詩音	尚美学園大学
13 DF	青木 麗	尚美学園大学
14 MF	藤井みなみ	尚美学園大学
15 FW	中山 慶子	久喜高校

レジスタFCが世界準優勝! ~ダノンネーションズカップ2012 inポーランド~

9月6日から9日まで、ポーランド・ワルシャワにおいてダノンネーションズカップ2012が開催されました。日本代表としてレジスタFC(八潮市)が出場し、見事準優勝という好成績を収めました。金杉伸二代表に話を伺いました。

「いい経験をさせていただきました。38もの国(2カ国欠場のため)のチームが集まる機会もないでしょうし、また私自身、経験がありません(笑)。ですから、食事のときに他国の子どもたちがバンバン食器を叩いたりして、日本では考えられないようなこともありました。

まず今回は14名に絞ることが大変でした。日を追うことに子ど

もたちの成長が早いものですから、この大会が1ヵ月前、もしくは10日後にあれば、また違った選手構成になっていたかもしれません。9人制の試合を14人の選手たちと予選リーグ(15分×1)を4試合、決勝までのトーナメント(20分×1)を4試合戦ってきました。

初戦のチェコ戦では流れの中で3点取れたのですが、次のウルグアイに引き分けたんです。試合は15分一本勝負。ガラッと流れてしまったのですが、ここで目が覚めました。様子見をしている時間はないというのがわかったんです(笑)。

決勝トーナメントでも20分一本ですから、お互いに自分たちのサッカーの押し付け合いのようなものでした。相手がどうして

くるかなんて考える時間もないんです。ただのぶつかりあい。オフサイドもありませんし、こちらもポゼッションはなし。とにかく仕掛けていくだけでした。

我々のテーマとして『日本人らしさ、レジスタらしさ』を出そうと話をしていました。ちょうどロンドン五輪で日本代表が前からガンガン行ったじゃないですか。『あれ、いいよね』と意識を持ってハードワークに務めました。だからシュートを打ちたかったら、自分でボールを奪う、1stDFはバシッと行こうと。とにかく相手選手たちは上手いし、大きいし、速かったですね。

「悔しい」

得たものは、お世辞も含めてでしょうが、様々な国のコーチから『日本のサッカーは素晴らしい』『この大会のベストチームだ』と賞賛されたことです。今までやってきたことは間違っていないのだと自信になりました。子どもたちを見ても、いろいろな国の子どもたちから人気があり、ペナントやユニフォーム交換を求められていましたから、サッカーそのものが世界から認められたのでしょう。特にアジリティの部分では『どういうトレーニングをしているのか?』という質問が多かったですね。ブラジルのコーチからは『実際に紙に書いてくれ』とまで言われました(苦笑)。

帰国して、皆さんから『おめでとうございます』と言っていたのですが、率直に言うと悔しさしかないんです。どんな舞台でも2位は悔しいんです。正直、うちのチームでなく他のチームが出たならば優勝していたのではとったりもしました。そういう思いというのは、優勝しなければ払拭できないですね。本当に悔しかったです。だからでしょうか、選手たちは上には上がいるというのがわかったことで、今までよりも真剣にサッカーに取り組んでくれているような気がします」

●予選リーグ

レジスタ	3—0	チェコ
レジスタ	0—0	ウルグアイ
レジスタ	1—0	ブルガリア
レジスタ	3—0	モロッコ

●決勝トーナメント

ラウンド16	レジスタ	2—0	アメリカ
準々決勝	レジスタ	2—1	スペイン
準決勝	レジスタ	3—1	アルゼンチン
決勝	レジスタ	0—0	韓国
		(1PK3)	

※ 優勝は韓国 (Pocheoldong Elementary School)



写真提供／レジスタFC

審判委員会より

●JFA関東審判トレセン埼玉開催

～審判委員長 岡田 泉～

去る9月22日(土)、23日(日)の1泊2日、東京国際大学・尚美学園大学・県大学連盟協力のもとJFA関東審判トレセンが本県で実施されました。JFA地域審判トレセンは、年8回行われ全国9地域における審判指導者並びに審判員の資質向上を目的とし、同プログラムを実施することにより地域間格差を無くし、日本サッカー全体のレベルアップにつなげることを目的に実施されているものです。関東地区では関東インストラクター3名、2級審判員6名が参加しています。参加していない都県もあることから、内容を各都県に還元できるように全ての都県で1回実施しています。今回は、オブザーバーとして本県インストラクター並びに審判員が参加しました。

今回のテーマは「オフサイド」でした。テーマに沿って、インストラクターによるビデオ判定テスト・ビデオクリップディスカッション・プラクティカルトレーニング・フィジカルトレーニング・資質向上プレゼン・競技規則プレゼン・ビデオによるレフェリング分析、審判員によるスタンプ(体を使っでの表現)・競技規則テストが行われました。

今回行われたプラクティカルトレーニングの一部を紹介します。相手競技者へ干渉することによるオフサイドのケースを取り上げ、デモンストレーターとして東京国際大学サッカー部員の皆さんにインストラクター指導の下、実演してもらいました。相手競技者に干渉するとは、相手競技者を惑わす等です。このトレーニングを通して参加者は、副審の合図に頼るのではなく主審の判断力の重要性について再確認しました。

審判はゲームを構成する上で非常に重要な役割を担っています。県内外のゲームを見る機会も多くありますが、判定の平等性ということに関しては保障されていると言えるでしょう。しかし、判定基準となると事象を見極めることができずに判定基準がばらつくことが多いように感じられます。サッカーの魅力、競技者の力を十分に引き出せるようJFA地域トレセンから発信していけるようにしたいと思います。最後になりましたが、御協力頂きました関係者の方々に御礼申し上げます。

●2012強化審判員研修会報告

～審判委員会指導部長 木村 滋～

10月6日(土)全国高等学校サッカー選手権大会埼玉県大会の2次予選を利用し強化審判員研修会を実施しました。初戦となる6日は、尚美学園大学G、戸田市惣右衛門G、西武台高校において12名のレフェリーがゲームを担当し、実技研修を行いました。実技研修では判定の的確さ、一貫性、ゲームコントロール(警告、退場)、体力、動き、ポジショニングについて検証しました。

夕方には、会場を上尾南高校へ移し、グループディスカッション、「一級レフェリーに必要な資質とは」というテーマで話し合い、グループごとに発表をしました。講話では、関東インストラクター部長の濱名哲也氏より日本のトップレフェリーの役割、責任、心構えなどをレクチャーしていただきました。その後、上尾第一ホテルに宿泊し、7日は再び上尾南高校において、グループディスカッション講評、VTR研修、ルールテスト、レクチャーと多様な内容となりました。

参加した審判員の力量は、昨年に比べ確実に進歩していると、実感しています。取り組む姿勢の高さに、これからの活躍が十分期待できると感じました。10月の県大会トーナメントにおいても33名の審判員が指名され参加します。さらに、多くの審判員が質を高め埼玉サッカー発展のため、研鑽されることを期待いたします。

指導者養成より

●2012年度(公財)日本サッカー協会公認C級コーチ養成講習会SFAインターンシップコース(夏)開催

この夏も9月4日から7日まで、C級インターンシップコースが開催されました。受講者は7名。暑い中、大学生たちががんばってくれました。

今年度活動してくれている大学生は63名。県内10校の中学校に派遣されて、指導しています。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

祝、高校総体準優勝 & U-18リーグ優勝

武南高校・大山照人監督インタビュー

この夏、武南高校が高校総体で初の準優勝に輝いた。埼玉県勢としては95年の西武台以来の結果をもたらしてくれた。さらにU-18リーグでも優勝し、来期のプリンスリーグ復帰にも期待がかかる。高校選手権の県予選を前に、ここまでのチーム作りについて伺った。
(インタビューは9月26日)

「リーグ戦の位置づけが低い」

—まずは高校総体準優勝、おめでとうございます。またU-18リーグの優勝も素晴らしい追い上げを見せた逆転優勝でした。

大山 ありがとうございます。

—まず、直近であるリーグ戦優勝についてお伺いしましょうか。

大山 そうですね。まず優勝したことの前につ。埼玉において、いわゆる「リーグ戦」の位置づけはまだまだ低いと思います。これがいいことなのかどうか。2種ならば、まだまだ高校選手権が一番で、次に高校総体という順列ですが、これからはリーグ戦を最も高く位置づけをしななければならないと思います。一発勝負のトーナメントの出来不出来で結果が左右されるのではなく、年間を通じた結果を評価するべきだと思うのです。

怪我など、時期やタイミングなどチームにとってはマイナス面もあるでしょう。どうしてもモチベーションが上がらないこともあるでしょう。しかし、そんな中でもリーグ戦はあるのです。どんな時でも「どう戦うか」を考えなければならないのがリーグ戦。短期決戦ではなかなかできないことから、価値があるのです。この意識が埼玉では全国に比べてお粗末のような気がします。

リーグ戦というのは子どもたちとサッカーをやらせてもらっている中で、願ってもいないチャンスです。時間はかかるでしょうが、県からでもプリンスリーグ、プレミアリーグへのチャンスが芽生えたのですから。ここを勝ち上がった県代表に対しては、もっとバックアップをしてもらいたいものです。

そう、県代表なのです。代表の活躍を埼玉の3種、4種の子どもたちは見ているんですよ。だから、県代表になるチームも、その大会に出場しているチームも、もっと高い意識を持ってほしいのです。そのためには、もっと自分たちで盛り上げていく必要があると思います。宣伝がイマイチかな。選手たちも、一人でも多くの人に見てもらおうと、好プレーも生まれると思いますね。

—年間を通じたリーグ戦の提唱については、全種別においてSFAとしても取り組んでいます。ただ、既存の大会がある中で行ってもらっているために「大会が一つ増えた」という感覚で取り組んでもらっているというのが現状です。選手たちを育成する場として、ベースになるのがリーグ戦だという意識を持っていただきたいものです。そのためには、もっと積極的な広報活動を行っていききたいと思います。

さて今回は、高校の全チームがすべて参加してのU-18リーグとなりました。かなり手応えがあったのではないのでしょうか。

「今年は足りない」

大山 たまたま、上位の4チーム(西武台、正智深谷、浦和東と武南)が集まったので、気合いの入ったリーグ戦になりました。ただ、前期を終えた段階では5位。「厳しいなあ」と思いましたね。このチームでどこにターゲットを置こうかと考えたとき、リーグ戦を捨てようかなと思ったこともありました。高校総体に絞るか、それとも高校総体も捨てて、選手権に賭けるか……。

選手のプレーの精度——パス、シュート、コントロールを見ても、これでは外では戦えないと思っていました。確かに関東大会の県予選は優勝できましたが、納得していませんでした。実際、本大会準決勝では1点も取れずに負けたんですから。精神的なものを踏まえて、今年は足りないと判断したのです。

このままではいけないと思い、欠点の改善に着手するか、ゲームの中で使える基礎技術を徹底させるのか。止まってコントロール、1st タッチで相手をかわす……しかし、それではお話にならないわけです。



大山照人氏

—折り返しとなった第8節(5月20日)終了時点では5位だった。そこから順位を一つずつ上げて行き、最終節は浦和東と正智深谷と三つ巴の混戦となりました(最終節は浦和東と正智深谷の直接対決。1-1で終わった)。

大山 最後まで盛り上がりましたね。最終戦、西武台に勝ててよかったです。

—このリーグ戦を挟まれながら、高校総体予選がありました。

大山 リーグ戦を戦う中で「これからどうしようか」と思っていました。高体連の大会としては、とにかく全国への可能性は2回あるわけです。予選を前にして、とりあえず全力でぶつかって行こうと話をしていたら、がんばっちゃったんです(笑)。いい試合もあれば、内容的に納得できない試合もありましたけれど。ただ、選手には厳しいことをしました。通常は進路のことも考えて、最上級生を優先にして起用しましたが、今年は精選して、そこに2年生と1年生にもチャンスを与えて、どのくらいの“すそ野”があるのか確認したかったんです。すると、選手たちが勇敢なプレーを見せるようになったんです。こっちの考えを読み取ったのかはわかりませんが、下級生には成長が見られ、上級生は責任あるプレーを見せてくれるようになり、結果的には相乗効果がありましたね。

「答えは転がっている」

—そして西武台と共に埼玉県代表となりました。長野での高校総体を振り返っていただけますか。

大山 試合ごとにチームが一つになっていった大会でした。ずっと選手たちに繰り返し問いかけたのは「個々のレベルはどのくらいあるのか? そこで何ができるのか? そこまでできていない。では相手チームに勝つ為に何をしなければならないのか」と。求めたのは「答えは転がっている。見つけろ」と。

特に夏から、攻守の切り替えのところ、最初の3歩のところの初期動作を理解してくれるようになりました。だから大会を通じて、カバーもフォローもできていたんです。夏休みに入って、本番モードに突入して、感触はありましたね。

—初戦から大量得点でした。

大山 1回戦、5点取っていい流れになりました。続く、鹿児島城西との試合はリベンジ(去年の高校総体)。集中できました。あとで思うと、試合を重ねるごとに集中でき、サイドの崩しなど武南本来の形が出てくるようになりました。失点は多かったですが、CKからも点を取ってくれました。

—チームとして初の決勝に進出し、結果は残念でしたが、収穫も多かった大会だったと思います。

大山 そうですね。ただ連戦は（選手たちに）気の毒でしたね。暑くて暑くて、アンダーシャツの着替えが足りなくて埼玉から送ってもらったほどでした。でも、あの暑さがあって、こちらとしても手綱を引けたかなとも思います。結果的に6連戦と、あそこまで行くとは思っていませんでしたが一戦一戦集中できていないと勝てるものではありません。まあ、やればできるかと思いました（笑）。最後、決勝で負けたのは悔しかったですが、チームとして一つになったことを実証してくれたことと、最後までがんばれるということを見せてくれたことを評価したいですね。

今年の武南はやってけると思っていたが、残念ながら高校選手権県予選のベスト16において敗退してしまった。次年度に期待したい。

平成24年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会

7月29日～8月4日 アルウィン他

1回戦 近大和歌山 1－5 **武南**
西武台 3－0 札幌大谷
2回戦 鹿児島城西 1－2 **武南**
西武台 0－4 前橋商業
3回戦 **武南** 3－2 青森山田
準々決勝 桐光学園 0－2 **武南**
準決勝 **武南** 1－1 大阪桐蔭
(3PK0)
決勝 **武南** 1－2 三浦学苑
※ 三浦学苑（神奈川県）は初出場、初優勝

高円宮杯U-18サッカーリーグ 埼玉県S1リーグ

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	得失差	勝点
1	武南	10	1	3	24	9	+15	31
2	浦和東	8	3	3	22	14	+8	27
3	正智深谷	8	2	4	33	17	+16	26
4	西武台	7	3	4	26	14	+12	24
5	埼玉栄	6	5	3	22	19	+3	23
6	昌平	4	2	8	16	21	－5	14
7	西武文理	2	1	11	10	34	－24	7
8	市立浦和	2	1	11	13	38	－25	7



1回戦 西武台 vs 札幌大谷



2回戦 西武台 vs 前橋商業



1回戦 武南 vs 近大和歌山



2回戦 武南 vs 鹿児島城西



3回戦 武南 vs 青森山田



準々決勝 武南 vs 桐光学園



準決勝 武南 vs 大阪桐蔭



決勝 武南 vs 三浦学苑



準優勝 武南高校

大会記録 ● 県内大会

1 種

2012年度埼玉県社会人サッカーリーグ 1 部

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	得失差	勝点
1	坂戸シティ	12	1	3	46	14	+32	37
2	越谷FC	10	2	4	35	24	+11	32
3	アルドール狭山	10	1	5	44	36	+8	31
4	FC西武台	9	2	5	29	21	+8	29
5	クマガヤSC	9	1	6	58	27	+31	28
6	狭山ラトルズ	6	0	10	32	38	-6	18
7	浦和レッズアマチュア	4	2	10	30	41	-11	14
8	川越全酪SC	4	3	9	21	47	-26	10
9	武南クラブ	2	0	14	12	59	-47	6

平成24年度全国クラブサッカー選手権大会埼玉県予選

6月3日～7月15日 埼玉スタジアム第4グラウンド他

クマガヤSC	3	1	1	越谷FC	1
初雁サッカークラブ	1	5PK 4	0	与野八王子クラブ	2
新明クラブ	2	1	0	ドルフィンズSC	1
川口SC	3	3	2	与野蹴魂会	0
サンパ南SC	1	延長	0	FCドルフィンズ	1
北坂戸SC	2	0	1	Aventura K	5PK 4
児玉町SC	0	4	0	FC小手指	0
クラブフェニックス	1	1	2	狭山ラトルズSC	4

※優勝はクラブフェニックス。全国大会の規定により、与野八王子クラブが関東大会に出場。

2012年度県民総合体育大会 兼 市町村対抗戦

7月22日～9月2日 熊谷スポーツ文化公園他

東松山市	0	1	2	秩父市	不戦勝
三郷市	3	5PK 4	3	蓮田市	0
春日部市	0	1	0	熊谷市(大里)	2
狭山市	1	3	1	さいたま市北部	0
草加市	1	0	1	日高市	5PK 4
寄居町	0	2	1	吉川市	1
飯能市	1	7	2	上尾市	2
所沢市	0	0	1	ふじみ野市	1

※優勝は三郷市。

第45回平成24年度埼玉県大学サッカーリーグ戦

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	得失差	勝点
1	東京国際大学	11	2	1	46	7	+39	35
2	尚美学園大学	9	3	2	37	20	+17	30
3	埼玉工業大学	7	5	2	25	13	+12	26
4	城西大学	7	2	5	38	25	+13	23
5	埼玉大学	5	4	5	20	25	-5	19
6	文教大学	2	5	7	23	30	-7	11
7	共栄大学	2	2	10	15	47	-32	8
8	駿河台大学	1	1	12	12	49	-37	4

※優勝した東京国際大学、2位の尚美学園大学は11月に開催される関東大学サッカー大会(入れ替え戦)に出場する。

3 種

埼玉新聞社旗争奪第21回埼玉県ユース(U-15)サッカー選手権大会 兼 高円宮杯第24回全日本ユース(U-15)サッカー選手権埼玉県予選大会

9月1日～10月13日 熊谷スポーツ文化公園補助競技場他

クマガヤSC	4	1	1	GRANDE・FC	1
FC・KASUKABE	2	5 0	3	プレジールSC入間	2
浦和レッズJY	2	0	2	大宮アルディージャJY	4
フットボールクラブ深谷	1	1	1	HANフットボールクラブ	1
見沼フットボールクラブ	1	0	1	クラブレジェンド熊谷	2
坂戸ディプロマツ	2	3	0	成立ゼブラFC	3

※優勝はクマガヤSC。関東大会には大宮アルディージャジュニアユース、浦和レッドダイヤモンズジュニアユース、クマガヤサッカースポーツクラブ、GRANDE FOOTBALL CLUB、FC KASUKABE、フットボールクラブ深谷、プレジールスポーツクラブ入間、HANフットボールクラブ、成立ゼブラフットボールクラブが出場する

平成24年度学校総合体育大会中学校サッカーの部

7月17日～30日 川越陸上競技場他

さいたま大原	6	2	0	さいたま大谷口	2
草加瀬崎	1	1	0	熊谷東	0
越谷新栄	0	2	3	鴻巣吹上	3
埼玉栄	5	1	2	さいたま南浦和	1
さいたま美園	0	4PK 5	0	蕨第一	4
所沢安松	3	1	0	越谷西	3
さいたま野東	2	2	0	川口里	0
さいたま木崎	3	2	0	さいたま原山	5 0

※優勝した鴻巣吹上中学校とさいたま市立木崎中学校は関東大会に出場する。



決勝 鴻巣吹上中 vs さいたま木崎中

女子

第16回埼玉県女子ユース(U-22)大会

8月19日～9月2日 戸田市惣右衛門サッカー場他

エルフェン狭山マリ	10	1	6	浦和レッズレディースユース	12
白岡SCL	1	0	0	川越レディースFC	1
SEフィリアFC	2	0	2	戸木南ボンバーズFC	1
熊谷プレシオッサ	0	6	2	川越レディースFC	5 1
浦和レッズレディースユース	18	6	2		

※優勝した浦和レッズレディースユースと2位のエルフェン狭山MARIは関東大会に出場する。

平成24年度埼玉県高校女子サッカー選手権大会

8月21日～9月22日 東松山陸上競技場他

本庄第一	13	2	3	山村学園	0
昌平	0	4	5PK 4	川口総合	0
庄和	0	2	1	市立浦和	0
南稜	1	0	3	浦和西	8
久喜	0	3	0	埼玉平成	1
入間向陽	7	2	0	狭山ヶ丘	0
大宮南	1	0	3	浦和一女	0
熊谷女子	1	3	9	久喜	3
花咲徳栄	6				

※初優勝した久喜高校は来年1月の全国高校女子サッカー選手権大会に出場する。2～4位は11月の関東大会に出場し、全国大会を目指す。

第10回 JFA 関東ガールズエイト(U-12)サッカー大会埼玉県予選決勝大会

7月7日、8日 上里町宮多目的広場サッカー場

●決勝リーグ

チーム名	戸木南	東大宮	浦和	フィリア	順位
C1位 戸木南ボンバーズ	*	2○1	1○0	1○0	1
D1位 東大宮エンジェルス	1●2	*	2○0	2○0	2
B1位 浦和ラッキーズ	0●1	0●2	*	0△0	3
A1位 SEフィリア	0●1	0●2	0△0	*	4

※優勝した戸木南ボンバーズ以下4チームは本大会に出場する。浦和ラッキーズとSEフィリアはPK戦で順位を決定した。

第24回埼玉県少女サッカー大会決勝大会 兼 第25回関東少女サッカー大会埼玉県代表決定大会

10月6日、7日 毛呂山町総合公園グラウンド

●決勝リーグ

順位	チーム名	東大宮	戸木南	戸塚	和光	勝点	得失差
1	東大宮エンジェルス	*	2○1	1○0	1○0	9	+3
2	戸木南ボンバーズ	1●2	*	2○0	3○0	6	+4
3	戸塚FCガールズ	0●1	0●2	*	0△0	1	-3
4	和光ベレーザ	0●1	0●3	0△0	*	1	-4

※東大宮エンジェルスは8年ぶり2度目の優勝。上位にチームが関東大会に出場する。

フットサル

バーモントカップ2012

第22回全日本少年フットサル大会埼玉県大会

7月8日～9月17日 くまがやドーム体育館

●決勝トーナメント

ベルナルFC	2	
コスモSC川越	9	5
malva saitama fc	13	0
新座エースFC	0	3
鳥天狗Jr.FC	0	0
アビリスタFC	3	3
あけぼのFC	2	3
江南南サッカー少年団	9	3

※優勝した江南南サッカー少年団は来年1月の本大会に出場する。

第18回全日本ユース(U-15)フットサル大会埼玉県大会

8月5日～9月17日 くまがやドーム体育館

●決勝トーナメント

malva saitama fc	7	
ロクFC	4	2
紋蔵庵	1	3
Futbol Club Cano A	4	0
フォルチFC D	2	2
FC BUBBLE ASAKA	4	0
フォルチFC A	10	2
フォルチFC C	2	0

※優勝したフォルチFC Aは11月の関東大会に出場する。

第9回全日本女子フットサル選手権大会埼玉県大会

8月4日 富士見市立市民総合体育館

●決勝トーナメント

Aventura Kawaguchi	0	
Estrela NOVA 川口	4	1
SAICOLO	4	5
武蔵丘短大シエンシア	5	5

※優勝した武蔵丘短期大学シエンシアは9月の関東大会に出場する。

大会記録●県外大会

1種・社会人

2012年度関東サッカーリーグ1部

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	SC相模原	15	2	1	42	13	+29	47
2	エリースフットボールクラブ東京	10	3	5	35	28	+7	33
3	ヴェルフェたかはら那須	8	5	5	27	20	+7	29
4	tonan前橋	8	4	6	34	29	+5	28
5	流通経済大学FC	7	6	5	37	28	+9	27
6	さいたまサッカークラブ	7	5	6	35	38	-3	26
7	FC KOREA	6	2	10	28	34	-6	20
8	クラブ・ドラゴンズ	6	2	10	29	36	-7	20
9	東邦チタニウムサッカー部	5	3	10	26	38	-12	18
10	神奈川県教員サッカークラブ	1	2	15	15	44	-29	5



関東サッカーリーグ1部 さいたまサッカークラブ vs 流通経済大学 FC

2012年関東サッカーリーグ2部

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	東京23フットボールクラブ	12	3	3	48	22	+26	39
2	日立ビルシステムサッカー部	11	3	4	31	17	+14	36
3	浦安サッカークラブ	7	6	5	29	20	+9	27
4	横浜猛蹴	7	5	6	32	27	+5	26
5	海上自衛隊厚木基地マーカス	6	6	6	30	32	-2	24
6	ACアルマレッザ飯能	7	2	9	19	28	-9	23
7	日本工学院 F・マリノス	6	2	10	28	36	-8	20
8	東京海上日動火災保険	6	2	10	21	29	-8	20
9	三菱養和サッカークラブ	6	2	10	29	41	-12	20
10	バイオニア川越サッカー部	4	5	9	21	36	-15	17

第48回全国社会人サッカー選手権大会 関東予選

6月26日～7月10日 各地

1回戦	アルドール狭山	0-2	三菱商事サッカー同好会
	越谷FC	2-1	青梅FC
	坂戸シティー	5-3 (延長)	荻崎アストロス
2回戦	さいたまSC	7-1	三菱商事サッカー同好会
	越谷FC	0-8	流通経済大学FC
	アルマレッザ飯能	3-2	エリースFC東京
	坂戸シティー	1-8	FC KOREA
	バイオニア川越	3-2	茨城教員会
決定戦	さいたまSC	3-0	クラブ・ドラゴンズ
	アルマレッザ飯能	3-2	流通経済大学FC
	バイオニア川越	1-2	日立ビルシステム

※さいたまSCとアルマレッザ飯能が本大会に出場。

第13回東日本社会人サッカー大会

7月14日～16日 川口市青木町公園総合運動場他

1回戦	埼玉県社会人選抜	1-2	福島ユナイテッドFC
	埼玉県国体選抜	0-0 (2PK3)	三重県国体選抜
5位決定戦	埼玉県国体選抜	2-0	埼玉県社会人選抜

※優勝は福島ユナイテッドFC

第19回全国クラブチームサッカー選手権大会関東大会

9月15日～17日 ひたちなか市総合運動公園スポーツひろば

1回戦	与野八王子クラブ	1-1 (4PK2)	ルガノルテ北杜
準決勝	与野八王子クラブ	3-2	AS CASA
決勝	OFC	3-1	与野八王子クラブ

※優勝はOFC(群馬県代表)。

第48回全国社会人サッカー選手権大会

10月～ 東京都内各地

1回戦	さいたまSC	1-0	サウルコス福井
	ファジアーノ岡山ネクスト	1-0	アルマレッザ飯能
2回戦	さいたまSC	1-2	アミティエSC

※優勝はFC KOREA

2種

平成24年度第36回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会関東大会

4月7日～6月24日 那須スポーツパーク他

●1次予選リーグ

2部リーグ①	大宮ソシオ	つくばSC	東京ベイ	今市アルシオーネ
5位 浦和SC	0●12	0●8	1●1	1●6

2部リーグ②	ヴェルディ相模原	エスパランサ	西多摩SSS	TFCシュトルツ
4位 ACフツウロ	1●7	0●1	3●4	3○1

●2次予選リーグ

グループA	鹿島	FC東京	甲府	つくばFC	エスパランサ
3位 アルディージャ	0●2	1●3	1○0	7○0	9○1

グループC	川崎	湘南	横河武蔵野	RIO FC	川崎栗の木
1位 レッズ	5○1	5○2	0△0	7○0	4○0

●9位決定戦

大宮アルディージャ 1ー1 ジェフユナイテッド千葉
(4PK5)

●1～4位決定戦

横浜F・マリノス 0ー3 浦和レッズ
FC東京 2ー3 浦和レッズ

※浦和レッズが優勝。上位9チームが全国大会に出場する。

第36回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会

7月26日～8月4日 ニッパツ三ツ沢球技場他

Dグループ	京都	鳥取	鹿島
2位 浦和レッズ	0●1	4○0	1○0

●ラウンド16 浦和レッズ 4ー3 大分トリニータ

●準々決勝 浦和レッズ 3ー4 横浜F・マリノス

※優勝は柏レイソルU-18(初)

3種

関東ユース(U-15)サッカーリーグ

●1部リーグ 全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	大宮アルディージャJY	14	6	2	65	25	+40	48
10	浦和レッドダイヤモンズJY	5	5	12	23	50	-27	20

●2部リーグ 全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	クマガヤSC	18	3	1	61	23	+38	57
6	GRANDE FC	10	4	8	41	33	+8	34

中体連

第43回関東中学校サッカー大会

8月7日～9日 栃県総合運動公園陸上競技場他

1回戦 鴻巣市立吹上中学校 1ー0 甲府市立西中学校
船橋市立八木が谷中学校 4ー0 さいたま市立木崎中学校
準々決勝 鴻巣市立吹上中学校 2ー3 吉岡町立吉岡中学校
順位決定戦 日光市立今市中学校 3ー2 鴻巣市立吹上中学校
鴻巣市立吹上中学校 0ー1 館林市立多々良中学校

※優勝はかえつ有明中学校。埼玉県からは本大会への出場はならず。

クラブユース

第18回関東クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

6月23日～7月15日 河口湖サッカー場他

1回戦 浦和レッズ 1ー1 SP・フッチSC
(4PK5)
東京ヴェルディ 4ー0 朝霞エステレラ
GRANDE FC 4ー2 FC杉野
AS栃木 0ー1 FC KASUKABE
鹿島アントラーズ 7ー1 武南ジュニアユース
レジェンド熊谷 1ー1 水戸ホーリーホック
(4PK3)
ジェフ市原・千葉 4ー1 CAアレグレ
鹿島アントラーズノルテ 1ー1 HAN FC
(4PK1)
大宮アルディージャ 5ー1 坂戸ディプロマツ
クマガヤSC 4ー0 町田JFC

FC深谷 1ー3 横浜F・マリノス
FC多摩 3ー2 大宮アルディージャ
FC KASUKABE 0ー4 鹿島アントラーズ
大豆戸FC 1ー3 クマガヤSC
GRANDE FC 3ー0 レジェンド熊谷
3回戦 ジェフ市原・千葉 4ー3 クマガヤSC
GRANDE FC 3ー2 ラルクヴェール千葉
準々決勝 鹿島アントラーズ 1ー0 GRANDE FC
9位決定戦 クマガヤSC 3ー2 横浜F・マリノス
クマガヤSC 6ー2 SP・フッチSC
柏レイソル 5ー1 クマガヤSC

※優勝はFC多摩。GRANDE FCが第7代表として本大会に出場する。

第27回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

8月14日～23日 帯広の森球技場他

●1次ラウンド

Fグループ	札幌	ブレイズ熊本	ジュビロ沼津
4位 GRANDE FC	0●6	1△1	0●4

※優勝はガンバ大阪ジュニアユース

4種

第36回全日本少年サッカー大会

7月31日～8月4日 愛鷹広域公園多目的競技場他

●1次ラウンド

8組	サガン鳥栖	JKキッズなめりかわ	FCやまぼうし
1位 新座片山FC	6○1	3○0	5○0

●2次ラウンドグループF

新座片山FC 2ー0 栃木SC
新座片山FC 3ー1 ディアブロッサ高田FC

●決勝トーナメント

準々決勝 ファナティコス 0ー1 新座片山FC
準決勝 新座片山FC 2ー0 名古屋グランパス
決勝 柏レイソル 1ー3 新座片山FC

※新座片山FCは16年振り2度目の優勝

第36回関東少年サッカー大会

8月18日、19日 神奈川県立体育センター球技場他

●グループリーグ

A組	甲府U-12	TEAMリフレ
1位 アビリスタ	4○1	2○0

D組	JACPA東京	横浜F・マリノスプライマリー
1位 江南南	1△1	2○1

G組	府中新町	三島FC
3位 上福岡少年少女	1●6	0△0

●3位パート

1回戦 上福岡少年少女 0ー2 古河SS

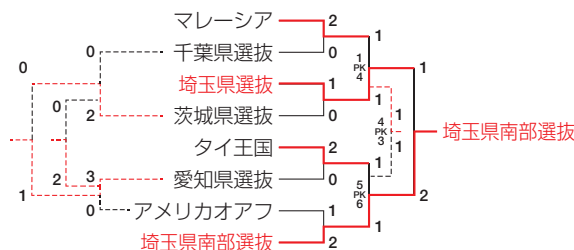
●1位パート

1回戦 FCアビリスタ 1ー0 高崎エヴォリスタ
鹿島つくばジュニア 0ー4 江南南SS
準決勝 FCアビリスタ 0ー1 江南南SS
決勝 江南南SS 2ー1 府中新町FC
※優勝は江南南SS

埼玉国際ジュニアサッカー大会2012

7月24日～29日 埼玉スタジアム他

●決勝トーナメント



※優勝は県南部選抜、2位県選抜、9位県東部選抜、13位朝霞市選抜、16位川口市選抜、19位県西部選抜、23位幸手市選抜、24位越谷市選抜



決勝
埼玉県南部選抜 vs 埼玉県選抜

女子

第34回関東女子サッカー選手権大会 兼 第34回全日本女子サッカー選手権大会関東地区予選

10月6日～14日 埼玉スタジアム第2グラウンド他

1回戦 浦和レッズレディースユース 3-1 太田レディース
尚美学園大学 0-2 ノジマステラ神奈川
大東文化大学 1-2 武蔵丘短期大学
準々決勝 浦和レッズレディースユース 1-0 筑波大学
ノジマステラ神奈川 2-1 武蔵丘短期大学
準決勝 浦和レッズレディースユース 1-2 早稲田大学
3位決定戦 浦和レッズレディースユース 2-2 日本体育大学
(5PK3)

※優勝は早稲田大学。上位4チームは本大会に出場する。

全国高等学校総合体育大会サッカー競技(女子)

7月29日～8月4日 アルウィン他

1回戦 本庄第一高校 0-2 大谷室蘭

※優勝は日ノ本学園高校(兵庫)。



1回戦
本庄第一高校 vs 大谷室蘭

第17回関東女子ユース(U-15)サッカー選手権大会 兼 第17回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会関東予選

6月16日～24日 保土ヶ谷公園サッカー場他

●グループリーグ

Aグループ	YSCC	武田消毒	修徳中
1位 エルフェン狭山MARI	0●1	2○0	4○0

Cグループ	ジェフ千葉	武蔵野	栃木SC
2位 大宮FCエンジェルス05	2○1	0●1	2○0

Dグループ	ジェフ千葉	世田谷	KASHIMA
1位 浦和レッズJrユース	1○0	2○1	5○0

●決勝トーナメント

1回戦 エルフェン狭山MARI 3-0 ジェフ千葉U-15
大宮FCエンジェルス05 1-0 横須賀シーガルズJOY
YSCCコスモス 1-4 浦和レッズジュニアユース
準決勝 エルフェン狭山MARI 1-0 大宮FCエンジェルス05
ジェフ千葉U-16 1-0 浦和レッズジュニアユース
3位決定戦 大宮FCエンジェルス05 1-2 浦和レッズジュニアユース
決勝 エルフェン狭山MARI 0-4 ジェフ千葉U-16
※優勝はジェフ千葉U-16。上位9チームが本大会に出場する。

第17回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会

7月28日～8月2日 J-GREEN 堺

1回戦 アルビレックス新潟U-18 1-2 大宮FCエンジェルス05
浦和レッズジュニアユース 7-1 東白石あかつきFC
秋田LFCユース 0-7 エルフェン狭山MARI
2回戦 大宮FCエンジェルス05 0-0 神村学園中等部
(4PK5)
常葉学園橘中学校 1-1 エルフェン狭山MARI
(1PK2)
京都精華女子中学校 0-1 浦和レッズジュニアユース

準々決勝 浦和レッズジュニアユース 1-0 JFAアカデミー福島
エルフェン狭山MARI 1-0 スフィーダ世田谷ユース
準決勝 浦和レッズジュニアユース 2-1 エルフェン狭山MARI
3位決定戦 丸岡RUCKレディース 2-2 エルフェン狭山MARI
(1PK2)
決勝 FCヴィトリア 0-0 浦和レッズジュニアユース
(3PK5)

※優勝は浦和レッズレディースジュニアユース。これで5連覇達成。ASエルフェン狭山MARIも3位に入賞した。

第10回 JFA 関東ガールズエイト(U-12)サッカー大会

8月18日、19日 那須塩原・青木サッカー場他

グループA	下都賀	ROSSA	南が丘	スマイル
3位 浦和ラッキーズ	0●1	0△0	1○0	3○0

グループB	ブルチーノ	かずさ	宇都宮JFC	SH G
1位 東大宮エンジェルス	4○0	2○0	0△0	0△0

グループD	千葉中央	厚木	両毛	トヨニ	エスペランサ
5位 SEフィリア	0●3	0△0	1△1	1△1	0△0

グループE	南大沢	古河	エストレラ	武田消毒
1位 戸木南	1○0	3○0	1○0	6○0

※ 東大宮エンジェルスと戸木南ボンパーズはグループ優勝

第17回首都圏少女サッカー交流大会

9月23日 八王子・戸吹公園競技場

1回戦

埼玉県女子U-12トレセン 3-0 栃木県選抜・空

準決勝

埼玉県女子U-12トレセン 3-1 群馬県少女選抜

※ 悪天候のため、埼玉県女子U-12トレセンと東京都女子U-12トレセンが優勝。埼玉県は7年振り4度目の優勝。

シニア

第7回関東シニアサッカー選手権大会(Over 60)

8月4日、5日 市原市スポレクパーク

●予選リーグ

B組	栃木大昭SC	FCマジオール	湘南ペガサス60
1位 埼玉シニア60	3○0	0△0	4○1

●決勝 茨城県 1-0 埼玉県

※ 優勝は茨城県。

ねんりんピック宮城・仙台2012

10月13日～16日 松島運動公園他

Bブロック	山梨県	兵庫県	福岡県
1位 さいたま市	1△1	2○0	3○0

Kブロック	山形県	滋賀県	徳島県
2位 埼玉県	1△1	1△1	2○0

フットサル

第7回全国ビーチサッカー大会関東大会

7月7日、8日 ひたちなか市阿字ヶ浦海岸

●1次リーグ・Cブロック

CAリバープレートジャパン 7-2 FCガッカン
CAリバープレートジャパン 0-5 ボンファム

●2次リーグ・Eブロック

CAリバープレートジャパン 0-4 ボンファム
CAリバープレートジャパン 0-8 東京レキオスBC

※ 試合順未確認。関東代表は東京レキオスBCとGCネリネ。

第9回全日本女子フットサル選手権大会関東大会

10月6日、13日 駒沢オリンピック公園体育館

●1次ラウンド・Aグループ

武蔵丘短期大学シエンシア 4-3 タバジダ
武蔵丘短期大学シエンシア 3-7 バルドラール浦安ラスボニータス
※ 優勝はカフリンガボーイズ東久留米。上位3チームが本大会へ。

インフォメーション

●「SFA NEWS」をリニューアルします！

「SFA NEWS」は今回で61号となりました。創刊号は、1997年4月15日、モノクロ2ページで創刊されました。以後基本的には年4回、全登録チームと3級審判以上の皆さん、そして関係者の皆さんに送付してまいりました。2号目からカラー面を含めた4ページとなるなど、時代の流れの中で変化していきました。改めて紙面を振り返れば、様々な場面で繰り広げられた埼玉のサッカーの歴史を振り返ることができます。

さて、これまで年4回発行してきた「SFA NEWS」の紙での発行を今回で休止し、今後は公式ウェブサイトへ移行することにしました。しかし、質を落とすことなく、もっとタイムリーに、内容を掘り下げたニュースをお届けしていきたいと考えております。引き続き、ご支援、ご理解を賜りたいと存じます。

さらに多くの皆さんに読んでいただき、しっかりとした情報公開を行いながら、今まで以上に県内のサッカー環境向上に務めてまいりたいと思います。

最後に、長く「SFA NEWS」制作に携わって来られた、歴代の広報委員長である関根弘之氏、高橋明氏に感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

新「SFA NEWS」の概要

- ・隔月発行（年6回）。
- ・1号あたり8ページ。
- ・発行形態は、SFA 公式ウェブサイトにPDFとして掲載。

●JFAキッズ(U-8)サッカーフェスティバル2012 in熊谷

9月23日、くまがやドームにおいて、JFAキッズ(U-8)サッカーフェスティバル2012が開催されました。午前、午後共に各24チーム、約460名の子どもたちがボールを追いかけていました。その各コートで繰り広げられる熱戦に、350名もの保護者の皆さんも熱くなり、大きな声援を送ってくれました。

ちょっとしたきっかけかもしれませんが、このフェスティバルを経験して、少しでも外遊びを楽しんでもらいたいものです。関係者、スタッフの皆さん、お疲れ様でした。



●平成24年度市町サッカー協会理事長会議開催

8月5日、さいたま共済会館において「平成24年度市町サッカー協会理事長会議」が開催され、19の市町協会の他代表の方々と交流をいたしました。

横山副会長より、公益財団法人への移行に関する説明と移行に伴う、今後のSFAの方針の説明がありました。会議後には懇親会を行い、様々な意見交換がなされました。

各市町協会とSFAのよりよい交流によって、県内のサッカー環境

編集後記

●数年前、フランスに研修に行ったメンバーで一番良いコーチと思ったのが、神戸の下部組織の野田(知氏)コーチでした。国体少年で30年ぶりに兵庫が優勝しました。関係ありますか？(坂庭)

●北海道旅行してきました。札幌では友達と10年ぶりの再会に感動！それにしても北海道、10月中旬なのに寒かった～>_<(こいち)

●誘われて出掛けたイベント。混雑している会場で高校の時に教わった先生と偶然会

い、互いに驚きつつも話す事ができました。思い掛けない場所で思いも寄らない人に出会うのは、嬉しく楽しい一時ですね！(かのう)

●今年も気づけば「収穫の秋」です。秋生まれの私は、また1つ歳を重ねられたことに感謝し、1年に1つだけでも実りある物を残していければと思います。(小豆澤)

●秋ですね。秋といえば食欲の秋！おいしい物をたくさん食べて、これからくる寒い冬を乗り切る為にエネルギーを溜めたい

がさらによくなることを期待しています。



FIFA U-20女子ワールドカップジャパン2012開催！

8月19日から9月8日まで、「FIFA U-20女子ワールドカップジャパン 2012」が日本で開催されました。埼玉県でもさいたま市・浦和駒場スタジアムでグループリーグ6試合、準々決勝2試合が開催されました。

グループステージ

8月19日	ブラジル 1-1	イタリア
	ナイジェリア 2-0	韓国
8月22日	ブラジル 1-1	ナイジェリア
	イタリア 0-2	韓国
8月27日	カナダ 1-2	北朝鮮
	中国 1-0	ガーナ

セカンドステージ～準々決勝

8月31日	北朝鮮 1-2	アメリカ
	(延長)	
	ドイツ 4-0	ノルウェー

残念ながら、日本代表の試合は開催されませんでした。多くの県民の皆さん、特に将来の「なでしこジャパン」候補の子どもたちが観戦してくれたことは、将来に大きな希望を抱かせてくれました。

なお日本代表は3位に入りました。選手の皆さん、お疲れ様でした。なお、優勝はアメリカ合衆国となりました。

今回の開催を「財産」として残すべく、開催各地でレガシープログラムも開催されました。詳細は <http://www.jfa.or.jp/fu20www/legacyprogramme/> をご覧下さい。

U-20女子日本代表(埼玉県関係者)

MF 加藤千佳(鴻巣FCプライマリー出身)、藤田のぞみ(キャプテン)、猶本光、柴田華絵、DF 坂本理保、和田奈央子、GK 池田咲紀子(浦和ラッキーズ出身)【以上、浦和レッズレディース所属】、DF 土光真代(戸木南ボンバーズ→戸田南FCサッカー少年団→戸木南ボンバーズ→日テレ・ベレーザ)

FIFA U-17女子ワールドカップ アゼルバイジャン2012では惜しくもベスト8！

9月22日からアゼルバイジャンで開催された「FIFA U-17女子ワールドカップ アゼルバイジャン2012」において、日本代表はベスト8となりました。なお、優勝はフランスでした。以下、埼玉県関係者です。お疲れ様でした。

U-17女子日本代表(埼玉県関係者)

DF 石井咲希、MF 中村みづき(共に浦和レッズレディースユース)
DF 乗松瑠華(西上尾キッカーズスポーツ少年団→JFAアカデミー福島)
MF 長谷川唯(戸田南FCサッカー少年団→戸木南ボンバーズ→日テレ・メニーナ)

と思います！ああ～さんまが食べたい(笑)(佐々木)

●男子にしても女子にしても、県内の若い選手が世界で活躍してくれていますが、先日は徐々に春日部出身の佐藤寿人選手(広島)が日本代表に呼ばれました。残念ながらフランス戦でもブラジル戦でも出場はありませんでしたが、Jリーグのトップスコアラーとして、その出番を待ちたいと思います。(荒川)